

令和3年度 人形峠環境技術センター原子力防災訓練における課題対応について

1. はじめに

令和3年9月7日に実施した訓練の結果を踏まえ、課題を抽出し対策の検討を行った。

【抽出した課題等】

No	抽出した課題	区分	対策
1	現地対策本部から「事象進展対策シート」を用いた作業の進捗報告がタイムリーに実施できなかった。	COPシート	・開始時刻・終了時刻の報告が開始及び終了の都度で報告することをルール化
2	ERCに対して「事象進展対策シート」を定期的に配布することができていない。	情報共有	・配布すべき資料の明確化 ・配布する間隔の明確化
—	その他	—	—

2. 検討

<No. 1>

【問題点】

「事象進展対策シート」*を用いた応急措置作業の実施状況について、開始時刻・終了時刻の報告が開始及び終了の都度でなく、集約して報告した。

*:発生した事象の進展を防ぐための対応策（例：放射性物質の施設外漏えい時における放出停止措置等）をまとめたCOPシート（Common Operational Picture；共通状況図）の1つ。

【課題】

現地対策本部から「事象進展対策シート」を用いた作業の進捗報告がタイムリーに実施できなかった。

【原因】

- ①「事象進展対策シート」に時刻を書き示して報告することで、進捗状況を確実に、現地対策本部→機構対策本部→ERCに伝達するという目的を理解していなかった。
- ②作業の進捗報告のタイミングが不明瞭であるため。

【対策】

- ①「事象進展対策シート」に時刻を書き示して報告し、進捗状況を現地対策本部→機構対策本部→ERCに伝達するということをセンター内要領に明記し、教育を実施する。
- ②「開始時刻・終了時刻の報告が開始及び終了の都度」で報告することをルール化する。

<No. 2>

【問題点】

リエゾン活動開始前において、機構本部（原子力施設事態即応センター）から原子力規制庁緊急時対応センター（以下「ERC」という。）に対して「事象進展対策シート」を配布（FAX送付）したのが1回のみであった。

【課題】

ERCに対して「事象進展対策シート」を定期的に配布することができていない。

【原因】

具体的にどのような資料をERCへ配布するのか、どの間隔で配布するのかが明確に定めていなかった。

【対策】

①COPシート、②放射線データ（環境モニタリング情報含む）、③その他ERCに対して説明した資料のうち状況把握に特に有用なもの（情報整理担当者が判断；例 事象を説明したポンチ絵等）を送付するよう明確化し、①②については概ね30分以内に定期的に配布することをルール化してマニュアルに反映する。

3. 「その他」に関する対策

（人形峠環境技術センター）

No.	課題区分	課題	原因	対策
1	COPシート	濃縮工学施設 第1ウラン貯蔵庫の「事象進展対策シート」は、SE02とGE02の通常放出経路での気体放射性物質の放出のみの内容となっている。 別施設は地震等に起因した建屋亀裂発生等によるSE05とGE05の事象で建屋外への放出を想定した内容の「事象進展対策シート」が整備されているが、当施設では整備されていない。	濃縮工学施設 第1ウラン貯蔵庫でも建屋亀裂発生等による建屋外への放出の可能性を考慮していなかった。	濃縮工学施設 第1ウラン貯蔵庫については、現行の通常放出経路での放出事象に加え、建屋亀裂発生等による建屋外に放出された場合の「事象進展対策シート」を追加する。
2	情報発信	機構TV会議システムを通じた1部の発話について、発話者が現地対策本部情報専任者に対して事前に発話内容を告げて発話許可を受けることを省略した。	機構TV会議システムで発話がない時の発話許可に関するルールが不明瞭であった。	機構TV会議システムでの発話がない時の発話方法に関し、検討する。

(機構本部)

No.	課題区分	課題	原因	対策
1	COPシート	「事象進展対策シート」に明記されていない対策（シートには加熱源の除去対策として単に「放水」と記載されていたが、実際には「泡放水」を実施したことで、その対策の有効性についてERCから疑義を持たれた。	「事象進展対策シート」に記載されている対策について、実施する可能性のある内容を網羅して記載できていない。	より適切な内容となるよう、COPシートの改善を継続して実施していく（拠点に対して指導、確認を実施）。

以上